

第1回 精華中学校校舎改築等検討委員会 会議録

名 称	精華中学校校舎改築等検討委員会【第1回】	
開 催 年 月 日	平成24年10月3日(水)	
開 催 時 間	午後1時30分～午後3時30分	
開 催 場 所	精華町立図書館 1階 集会室(精華町役場内)	
出席者名	委 員	(出席委員) 三井田康記、田中智美、針谷みさゑ、喜多俊夫、畑喜知、 谷清年、安倉敏代、土屋満、江本康宣、木原國夫 (欠席委員) 浜中さゆり
	事務局	(事務局) 太田教育長、永井総括指導主事、竹島学校教育課長、 小西担当課長補佐、吉田主幹、水口主事 (事務局補佐一株式会社福本設計) 長崎業務部長、木村設計部長、木村聡、岡田輝
傍 聴 人	2名	
配 布 資 料	資料1 「精華中学校校舎耐震化計画報告書」 資料2 「精華中学校校舎改築基本構想策定報告書」 資料3 「精華中学校校舎改築等検討委員会設置要領」 資料4 「精華中学校校舎改築等検討委員会日程」	
議 事 の 概 要	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 開会行事(教育長挨拶、委員紹介、事務局紹介)</li> <li>2. 委員長及び副委員長の選出</li> <li>3. 議題 <ol style="list-style-type: none"> <li>① 新校舎建設の基本理念(案)の提案と審議</li> </ol> </li> <li>4. 第2回委員会の日程について 平成24年11月14日(水)AM10:00～ 町立図書館 1階 集会室</li> <li>5. 閉会挨拶</li> </ol>	
会 議 の 経 過	別紙のとおり	

## 【第1回 委員会経過】

1. 開会
    - ① 竹島学校教育課長による開会宣言
  2. 教育長挨拶
    - ① 配布資料の確認等
      - ・委員会は5～6回行う予定。
      - ・実際に精華中学校の代表の生徒に意見を述べてもらう場も作りたい。
      - ・今回の議題は基本理念の確定を行いたい。
      - ・本委員会の委員の任期は基本設計の完了までとする。
  3. 委員会出席者の紹介  
検討委員、事務局、事務局補佐のコンサルタント
  4. 委員長・副委員長の選出  
委員の互選による選出
    - ・委員長 三井田 康記 氏 (畿央大学 教授)
    - ・副委員長 畑 喜知 氏 (精華中学校 校長)
- <委員長の挨拶>
- ・建築計画、地域まちづくり計画等を専門としている。
  - ・このような場は進行が固くなりがちだが、ざっくばらんな意見を言い合いながら良い意見が生まれ、それが実現できれば良い物が出来ると考えるので、そのように進めていきたいと思う。
5. 配布資料の説明
    - ・資料1～4までの説明を実施。
    - ・地域開放をしている学校や、特色のある学校への視察を行いたい。
  6. 新校舎建設の基本理念(案)の提案と審議について  
基本理念(案)
    - (1)地域に開かれ、地域に愛され守られる学校
    - (2)誰もが通いたい、通わせたいと思える、安全・安心な、信頼出来る学校
    - (3)生きる力をはぐくむことのできる学校
    - (4)環境に配慮され、環境を大切に考える生徒をはぐくむことのできる学校
    - (5)災害時にも頼りになる学校

## 【学校と地域コミュニティについて】

- (1)の地域に開かれ、地域に愛され～と(2)～安全・安心で守られている～とは相反するところだが、どのように考えるか？
- 精華中学校では現在コミュニティ活動を行なっている。外部の方が自由に出入りしており、不審者が入る可能性があるが学校等の対応は？

- ・ シニアスクールでは、校内に来校者の控え室がある。人の確認は行なっていない。
- シニアスクールに対する、学校の関わり方はどうか。全権を委任しているのか、学校側として地域住民の中に入っているのか。
  - ・ シニアスクールは5期目になる。講座により空き教室を使用したり、音楽室・調理室・コンピューター室など目的別に使用している。スクール受講者は事前に登録を行っており、事前にリストをもらい誰であるかは把握している。シニアスクール専用の下駄箱もある。学校とのパイプ役として、担当の常勤・非常勤の職員・講師が、調整・連携を行なっている。
- 子育て世代・地域住民の人々の意見を取り入れ、地域力を上げ、地域住民に守られた安全に通学させられる学校づくりをしてほしい。地域に公民館やプールなどが無いのでそれらの機能を開放してコミュニティセンターとしての役割を果たせる学校にしてほしい。
- 日々のあいさつや、講座の中で農園での栽培のしかたを教えるなど、地域に守られていると感じている。
- よく、学校長が「安心する」事として言っておられる内容として、地域の皆さんが常に見守ってくれていると言う事がある。一校区だけの問題ではないので、教育委員会が先頭に立って精華中学校がモデル校となるような学校作りをして欲しい。
- 門扉が開いているから地域に開かれているとは限らないし、不審者から子供たちを守るために門扉を閉めることにより安全・安心をアピールできることもある。対策として監視カメラなどの方法もある。他の地域で見ても、門扉の開閉によるクレームはなくなってきたように思える。訪問者（シニア・保護者）が気軽に入って活動できる場所があれば、たとえ門が閉まっても入りやすい雰囲気をつくり、地域に開かれていることになる。（物理的より精神的な所もある。）
- 生徒の居場所もさることながら、保護者・シニアの方の居場所もしっかり学校に作っていただきたい。

#### 【学校の現状について】

- 特色のある学校～とあるが、今の精華中学校の特色は何か。
  - ・ 生徒が気軽に挨拶するなどの人懐こさ、誰にでも明るく接することができるというのが良い所だと思う。
  - 反面、落ち着いて無いように思えるところもある。

変わっている所や特色があることがいいとは限らないと思う。

- 毎朝、部活動の練習など頑張っている。部活動にやりがいを感じている生徒が多いので安全に部活動ができることが重要。  
体育館、グラウンドは当然のことながら、周辺道路ではなく、敷地内にランニングスペースがあってもいいのではないか。
- 現在のクラブ数はいくつぐらいあるのか。
  - ・ 体育会系では、野球、陸上、サッカー、剣道、バスケット、テニス、バトミントン、卓球、女子バレー、駅伝部等がある。  
文科系では、総合文化と吹奏楽部がある。
- 校舎をみると卓球室があるが。
  - ・ 以前、校舎改築工事があった時に使用したプレハブ校舎を活用している。
- 部活動は大きなウエイトを占めており、友達作りの場、生徒指導、近所の方へのあいさつや人付き合いを学んでいる。  
クラブ BOX は元用具庫なのでスペースが小さく、更衣するのに不便なので改善していただきたい。  
コミュニティ活動についてはコミュニティの方と共同で農園を作っている。  
こういうスペースも確保できたらと思う。
- これから食育について目を向けていかなければならないのに、調理室の環境は好ましくない。ユニバーサル的な調理室が必要。期待している。
- 現状、バリアフリーが全くできていない。これから障害のある子も入ってくる可能性がある。  
シニアの方も入って来られるので考えて行かなければいけない。
- バリアフリーといってもさまざまなバリアフリーがある。  
生徒中心なのか、地域住民も踏まえたものか、しっかり考慮していただきたい。  
近年、障害者の方が増加傾向にあるので町だけではなく学校側としても力を入れていただきたい。  
障害のある生徒が学校に来ても楽しいと思えるようなバリアフリーの整備をしていただきたい。
- 障害者といっても身体だけではなく、精神的な障害もある。スクールカウンセラー等はあるのか。
  - ・ 非常勤で週一回、スクールカウンセラーがいる。
- 保健室へ直行する生徒はいるのか。
  - ・ 女子は1名、男子はたまに1名いる。オアシス的役割の相談室を完備し

ており、立地・環境を整えた一番良い状態でカウンセリングを受けることができている。

- ぜひ、新しい校舎でも良い環境の所に作っていただきたい。

### 【中学校給食について】

- 調理室の話があったが、給食はどうするのか。
  - ・ 中学校完全給食の実施の決議案が議員提案により可決された。  
今後、中学校に給食を導入する方向で実際の進め方を検討している所。  
食のあり方懇談会を設置、今後どこかで精華中学校改築事業の中に出てくる可能性もある。  
⇒ (事務局) 食のあり方懇談会を設けており、その中で校内に厨房を設けるかセンター方式にするか等の手法の検討を行い、年度内に方向性を出し、懇談会の設置期間が二年なのでその中で考えていく予定。
- 中学校側としては、給食はどう考えているのか。
  - ・ 給食について、職員はほぼ 10 割・生徒は 7~8 割反対している。  
生徒は親が作ってくれた弁当を食べたい。学校としても生徒指導上の問題もあり、また、時間的な制約を受けることで部活動に支障がでる。
- 給食には反対の意見を持っている。

しっかりとした食生活をとってもらおうと思えば、家庭によりしっかりと食に関して管理してもらいたいと思っている。

これからの子供を育てるにあたり、食に関していろいろな意味で豊かな常識のある人間性も育てなければならないが、この食の中に常識があると思っている。出来ればお弁当を続けてあげてほしいと思っている。

  - ・ 昨年アンケートを取っている。逆に保護者は 8~9 割が給食実施に賛成している。  
今回の基本設計の中にどう影響してくるか難しいところ。
- 精華西中で家族に対する感謝の気持ちを聞いたところ、弁当に関してが多かった。親との絆が薄くなっているのが大事な部分だと思う。
- 感謝の心を育むのは大事な問題と思われる。
- 給食は反対の立場で、親御さんは給食が無かったら無いなりに弁当を作ってくると思う。

コミュニケーションが取れる大きな部屋で食べるようにすればいいと思う。  
弁当がない子についても何か一緒に楽しく食事のとれる大きなゆとりのある場所を作っていただきたい。
- 本計画では給食はどこで食べるのか。  
⇒ (事務局) 計画時点では、給食などは考えていなかったもので、今までどお

り教室で食べる想定をしていた。

- 生徒全員となるとかなり広いスペースが必要になるので、曜日を変えるなどして複数学級・学年ごとに利用することなどが考えられる。  
最近の生徒は弁当を隠して食べているのか。  
昔は隠して食べている生徒が何人かいたが。
  - ・ 今の生徒は机に広げて食べている。  
精華中学校の校区内には施設の子がいるが、施設ではバランスよく作ってもらっている。弁当を作ってもらえない子のために斡旋弁当や、パンの販売がある。  
パンがいいという子もいれば親が作ってくれた弁当がいいという子もいる。弁当で親子の深いつながりを感じる生徒もいる。  
⇒（事務局）精華中学校以外の校区では、一般的に保護者は給食を強く望んでいる。
- 働く女性に給食は助かると思う。  
朝の忙しい時間に一番手間のかかるものが弁当。最近は、手軽な既製食品も増えたが、それも省きたいと考える方もいる。そういう所も考慮する必要がある。

#### 【学校施設について】

- 本来の教育という点に戻して、教室にどのようなものを求めているか。
- 川西小学校は新築から三年が経過し、校舎の二階に多目的ルームがあり、教室 2.5～3.0 個分の広さがある。  
学年集会や PTA などの会議等多目的に使用しており大変使い勝手が良く重宝している。机や椅子は倉庫に収納している。  
多目的ホールではなく、室として区画する方が使い勝手がいい。
- 精北小学校は教室に余裕が無いので、職員会議や生徒の活動は同じ部屋を使っている。  
生徒数の増減に関係なく活動出来るような部屋があれば、大変便利だと思う。
- 逆に、こういう部屋はいらないというのはないのか。
  - ・ 共用部の廊下について、あまり広すぎるのもどうかと思う。  
今の時期、体育の授業で体育館にて半分は男子が柔道、もう半分を女子がダンスをしているが、柔道の横で音楽が大音量でかかっており、柔道の授業がやりにくいという面でも多目的スペースは必要だと感じる。
- 廊下が広いと、教室内の生徒用ロッカーに入りきらない荷物を置けるので良い。
- ロッカーは普通教室の中と考えているのか。

- ・ 安心・安全面からも教室がいいと思う。現状も教室移動時は完全施錠としている。
- チョークの粉が付いた手をどこで洗うのか。教室に手洗いはあるのか。  
⇒（事務局）現時点では教室内に手洗いは考えていない。
- 教室内に手洗いを付けた場合、どのような行動に出るかわからない。  
例えば教室が水浸しになることも考えられる。今まで見たことが無い。
  - ・ 手洗いは廊下であり、教室内にはない。生徒たちには手洗いの励行をさせている。

#### 【地域との連携について】

- 基本理念の(5)の災害時に頼りになる～とあるが、地域には公民館がない。緊急時の配備になった際、管理職がすぐ駆けつけられない場合や遅れるような場合に、学校の職員が行かなくとも災害時の緊急避難スペースとして、緊急時の解錠等について考える必要がある。  
近隣住民や町職員、災害ボランティアが校内の一部スペースを開放できるように公民館機能を持たせたい。  
川西小学校のように図書室とトイレを学習エリアと仕切って開放できるような工夫がほしい。
- 精華町災害ボランティアセンター等、ボランティアの方々の協力とうまく連携してやっていければ、素晴らしい学校が出来上がるのではないかと思う。
- 公民館機能と意見が何回かだが、理念のどこに組み込めばいいか。  
⇒（事務局）基本理念の(1)に含まれると考えている。
- こういう機能を持つのは、他の中学校も同様か。
  - ・ 生涯学習型・一般開放型として、精華西中・川西小も一部機能を持っている。

#### 【環境について】

- 理念の各項目は言い尽くされているか。  
⇒（事務局）本日、出た意見を組込んで後日委員の皆さんに確認いただく。
- 理念の題目の部分の確定及び他に題目となるべき柱が必要かどうか確認してほしい。
- 基本理念の(4)環境に配慮され～とあるが、項目が題目にあってないのではないか。川西小学校には太陽光発電があるが、子供たちに何らかの影響は与えられているのではないかと思う。
  - ・ 図書室は結構電気を消費するので、太陽光発電は目に見えてかなり有効だと思う。

学校の周りに対する環境と言う部分で、外部スピーカーの向きや、落葉が飛んで迷惑がかからないか等、周辺住民への気遣いが必要。

環境のことを考えるにあたり、校内だけでなく、校外にも目を向けられるようになっていけばいいと思う。

- そういう教育はしているのか。
  - ・ 子どもに直接ではないが、学校を使う側からいうと、気になるところはある。  
例えば、大勢の来校者があるとなると、駐車場はどの位置にあるといいか等考慮して行かなければいけないと思う。
- 周りに負荷を与えないと言う事も入れる必要があるのでは。  
学校の植栽計画はどうか。実のなる木はどうか。  
⇒（事務局）維持に費用のかかる部分は避けたいと考えている。
  - ・ 実のなる木があると教育には良いが、関係者としては維持管理が難しい。
  - ・ 落ち葉が多いと周辺からお叱りをいただくこともある。  
四季を感じるために少しは必要かもしれないが、最低限の植栽計画をお願いしたい。

#### 【基本理念の確認（まとめ）について】

- 基本理念の(1)・(4)・(5)の項目の内容について重複する部分があり、内容について若干具体性にかけているのもう少し整理してほしい。
- 色々ご意見いただいたが、具体的に直す等なかなか出てこないのので、事務局のほうで知恵を絞っていただく事としたい。
- 基本理念の基本的な方針(1)～(5)についてはこれで決定する事とし、それぞれの項目についてはもう少し事務局のほうで精査していただくということでよいか。
- 了解。

#### 【基本理念について】

- ・ 題目の5項目については承認とする。
- ・ 内容については本日の意見を踏まえて検討し、再確認する事とする。

#### 7. 第2回委員会の日程について

- ・ 次回の委員会の開催日時は平成24年11月14日（水）AM10：00～

#### 8. 閉会